## 第 9 回あおぞら大賞受賞者

（※五十音順）
－株式会社シキトウサービス
環境問題への対応に早くから積極的に取り組み，平成12年度より継続して低公害車両への代替を促進。さらに既存のディ ーゼル車へのバイオマス燃料の使用，環境負荷の少ない事業運営を認証するグリーン経営の取得など，地球温暖化防止エネ ルギー源の多様化•循環型社会の形成に，社を挙げて取り組んでいる。

平成19年6月には兵庫県より経営革新計画の承認を受け，荷主企業に対し倉庫•配送部門の省力化•効率化を提案，設備 の機械化•電子化により，女性や高齢者でも働きやすい職場環境を整備した総合物流センターを新設し，「トラック運送事業」 から「総合物流企業」への転換を図っている。
－松蔭高等学校 グリーンエコプロジェクト
企業と連携した環境保全活動を生徒主体で実施するなど高等学校における環境教育の模範となる先進的かつ独創的な取り組みを推進してきた。

「企業と連携して間伐材を利用した割箸（エコ箸）の作成配布」「神戸市内の百貨店におけるエコエ作教室などの開催」「企業から出資を募り特製マイバッグを作成」「エコバッグに地球温暖化防止メッセージカードを入れ配布」「マイボトル貼り付 けステッカーを企業の協力で作成配布」などの取り組みは，NHKをはじめ新聞テレビ等で取り上げられ，また，経済産業省からキャリア教育先進事例に指定されたことから，各地で講演や事例報告依頼を受けるなど，全国から注目されている。

## －宝塚市中山台自治会

「次世代の子ども達のために」をスローガンに，自治会全世帯から排出される $\mathrm{CO}_{2}$ を 2010 年までに $14 \%$ 削減すること を目標に揭げ，地球温暖化防止活動に自治会が一体となって取り組んでいる。
平成18年に自治会独自で調査を行い，その調査結果に基づき，徹底した「省エネ」「省資源」を盛り込んだ自治会独自 の $\mathrm{CO}_{2}$ 削減マニュアルを作成し，現在 40 世帯以上において，マニュアルに基づき定量的な省エネ，省資源の取り組みを実施 している。取り組みの結果，ごみの発生量は $20 \%$ 削減し， 500 本の植樹が実施された。
平成20年度には100世帯での $\mathrm{CO}_{2}$ 削減を目指し自治会内での取り組みの環が広がりつつある。

## －東播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会

平成14年11月に発足以後，県や市町と連携して，東播磨地域における家庭部門の温暖化対策を中心に省エネ活動を実践 し，また，環境展など各種イベントへ積極的に参加するなど温暖化防止の普及啓発活動に取り組んできた。

平成19年度からは，県のキャンペーンに積極的に参画するほか，紙芝居による夏休み親と子の環境教室や小学校•幼稚園 への出前教室をはじめ，加古川クリーンウオーク，東播磨打ち水大作戦，省エネ家電普及促進協定店調査，アイドリングス トップ啓発などの地域と密着した活動を積極的に行っている。
特に，ペットボトルを活用した風カ発電工作教室，太陽光オルゴール作り教室，温暖化防止に役立つとされるケナフを教材とした教室の開催などの活動は，次代を担う子供たちに環境問題を考えさせるきっかけとなる取組であり，他の地球温暖化防止活動推進連絡会の活動の規範となっている。

## －株式会社松下ェコテクノロジーセンター

家電リサイクル法の施行に合わせ，家電4品目のリサイクルエ場として，平成13年4月1日に操業を開始し，自社製品 だけでなく，グループ 20 数社の製品の再商品化を実施することにより，再資源化に伴う $\mathrm{CO}_{2}$ の発生抑制に貢献した。研究部門が併設され，リサイクルしやすい商品化づくりに反映させるなどリサイクル技術の開発に積極的に取り組んできた。

現在，約 8 割が資源として回収されているが，廃棄物として処理される混合プラスチックダストから金属を回収する技術 を開発する等，マテリアルリサイクルを追求する実証型実験工場として，家電リサイクルにおけるゼロエミッションを実現 するために貢献してきた。

見学者の安全を考慮した見学できる施設として設計され，一般市民や，小中学生などの環境教育の場として提供するなど地域に開かれた施設として環境学習•教育にも積極的に取り組んでいる。

## －兵庫県立三木北高等学校環境研究部ECO P

地元商店街とともに地域活性化と連動させた「マイバッグ運動」を提案，この運動に参加したコープこうベミ木緑が丘店で はマイバック持参率 $95 \%$ 達成。この取組は三木市を動かし，コープこうベとマイバッグ協定を締結するに至った。平成 19年8月に実施した「マイうちわなごみのタ涼み」では，市役所や市内の事業所50団体以上の参加だけでなく，全国の大学の環境サークルなどの参加があり，マスコミに取り上げられるなど地球温暖化防止の大切さを広くPRした。

文化祭や校外において実施するイベントの模擬店では，生分解性食器を使用し，使用後は土にかえして無農薬野菜を栽培，次のイ ベントの模擬店で育てた無農薬野菜を販売するなど，自らも資源循環の取組を行い，地球温暖化防止活動を実践している。
平成 19 年度地球温暖化防止活動「知恵の環づくり」兵庫県大会で最優秀賞を受賞。兵庫県代表として全国大会にも出場した。

